

令和8年度 第3学年 国語科年間指導計画・評価規準

1 評価方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
項目	<p>言葉の働き、話し言葉と書き言葉、漢字、語彙、文や文章(文法)、言葉遣い、表現技法、書写、伝統的な言語文化(古典)、文学史、情報の扱い方に対する事項(情報と情報の関係、情報の整理)、読書</p> <p>・以上の項目のうち、知識、技能に関する課題の達成度を、テスト、成果物、観察のいずれかで評価します。</p> <p>・以上の項目に関する知識、技能の活用力を問う課題の達成度を、テスト、成果物、観察のいずれかで評価します。</p> <p>漢字・文法・書写・語彙・古典の知識・文学史・表現技法・情報の扱い方に対する理解</p>	<p>【話すこと、聞くこと】</p> <p>話題の設定、情報の収集、内容の検討、構成の検討、考えの形成、表現、共有、構造と内容の把握について、テスト、成果物、観察等で達成度を評価します。</p> <p>(例)</p> <p>・スピーチ、発表、弁論、聞き取りテスト、話し合い、討論、インタビュー等</p> <p>【書くこと】</p> <p>題材の設定、情報の収集、内容と構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有について、達成度をテスト、成果物、観察等で評価します。</p> <p>(例)</p> <p>・随筆、意見文、小論文、評論文、物語文を作成する等</p> <p>【読むこと】</p> <p>構成、構造、内容の把握、精査、解釈、考えの形成と共有について、達成度をテスト、成果物、観察等で評価します。</p> <p>(例)</p> <p>設定や構造の読解、内容の読解、収集した情報を活用し、考えを形成する課題等</p>	<p>その単元で示された知識・技能を獲得したり、思考・判断・表現を身に付けたりすることにに向けた、</p> <p>(1)粘り強い取組 (2)自らの学習状況を把握し、調整する力</p> <p>を成果物、観察等で評価します。</p> <p>・以上の項目について、ノートやレポートワークシートの内容、課題への取組み方、授業への姿勢、振り返りカード等の自己評価、相互評価の状況等</p>

2 年間指導計画

※【知技】(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項

学期	月	単元名	時数	学習内容	評価規準と評価の観点
1 学期	4	世界はうつくしいと	2	・詩を読み深める。	【知技】詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。(1)イ
		握手	4	・作品の設定を捉え、場人物の心情や人物像を読み取る。	【思判表】文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。(読む)ア
		[聞く] 意見を聞き、適切さを判断する	1	・スピーチの練習を聞き、スピーチをよりよくするための助言を考える。	【思判表】目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(話聞)ア
		文法Ⅰ 文法を生かす	1	・文法的な観点から表現を見直すことの意義を理解する。	【知技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。2年(1)オ
		説得力のある構成を考えよう スピーチで心を動かす	3	・話題を決め、情報を集め、話の構成を考えてスピーチをする。	【思判表】自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(話聞)イ
	5	言葉Ⅰ 相手や場に応じた言葉遣い	1	・相手や場に応じた言葉遣いや表現について理解する。	【知技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ
		学びて時に之を習ふ			【思判表】章を読んで考えを広げたり深め

	「論語」から	・「論語」について知り、教科書の現代語訳を基に、孔子が伝えたいことを要約し、自分の考えをもつ。	たりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(読む)エ
6	漢文の訓読	1 ・教材の書き下し文や訓読文を、漢文の言い回しや歴史的仮名遣いと現代仮名遣いに注意して、繰り返し朗読する。	【知技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア
	作られた「物語」を超えて	4 論理の展開と筆者の主張を捉え、筆者の主張について考え、文章にまとめる。	【思判表】文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(読む)ア
	思考のレッスン 具体化・抽象化	1 ・具体と抽象の関係で捉えられるものや、具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたについて理解する。	【知技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア
	論理の展開を意識して書こう グラフを基に小論文を書く	5 ・グラフの数値の読み取り方や分析の方法を検討し、構成や内容を考えて小論文を書く。	【思判表】目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(書く)ア
	俳句の可能性 [書く] 俳句の創作教室	2 ・俳句の特徴を理解し、筆者の評価のしかたを捉える。 2 ・俳句の鑑賞文を書く。	【思判表】俳句の構成や表現のしかたについて評価している。(読む)ウ 【思判表】表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。(書く)ウ
	言葉2 和語・漢語・外来語 語彙を豊かに	2 ・和語・漢語・外来語・混種語と言葉の変化について理解し、相手に合わせた、適切な言葉を選ぶ。	【知技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ
7	言葉の釣り糸を垂らす	2 ・題名の意味を捉え、筆者のものの見方や考え方について考える。	【思判表】文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(書く)イ
	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	3 ・実用的な文章を読むときには、どんなことに注目して読めばよいか、考えて話し合い、気をつけるべきことをまとめる。	【思判表】事実や事例の選び方、取り上げ方や、語句・写真の選び方、レイアウトなどに着目して批判的に記事を読み、書き手の意図について考えている。(書く)イ
	情報整理のレッスン 情報の信頼性	1 ・情報の信頼性とその確かめ方について理解し、生活の中で大切にしたいことを挙げる。	【知技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ
	いつも本はそばに(読書)①	2 ・教材から、夏休みに行う読書活動を選び、レポートか活動報告書を提出する。 ・学校図書館やインターネットを活用するなど、探し方を工夫して、興味をもてそうな本を探す。	【知技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ
	和歌の世界 音読を楽しむ ～古今和歌集 仮名序～	1 歴史的仮名遣いに気をつけて朗読し、古文の言葉の響きやリズムを味わう。	【知技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア
君待つと ——万葉・古今・新古今	4 ・歴史的背景を捉え、和歌の表現について話し合い、表現の仕方について評価する。	【思判表】和歌の表現のしかたについて評価している。(読む)ウ	

2 学 期	9	挨拶 ——原爆の写真によせて	2	・当時の時代背景について確認するとともに、表現の効果を評価し、自分の意見を述べる。	【思判表】詩の構成や表現のしかたについて評価している。(読む)ウ
		故郷	5	・場面や登場人物の設定に着目して読み深め、読み深めたことを基に、作品を批評する。	【思判表】文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(読む)イ
		[推敲] 論理の展開を整える	2	・目的や読み手に合わせて、表現や論理の展開を整えて課題に取り組み、読み手からの助言を踏まえて、推敲する。	【思判表】目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(書く)エ
	10	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	1	・聞き手が、話題を選んだ意図や具体的なエピソードを聞き出して、相手の内面に迫る質問を考える。	【思判表】話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(話聞)エ
		複数の意見を読んで、考えよう ——正解が一つに決まらない課題と向き合う	3	・3人の筆者の提言について文章の要旨を捉え、文章を比較し、評価する。	【思判表】文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(読む)ウ
		多角的に分析して批評文を書く	5	・観点を決めて問いを立て、考えを深める。構成を考えて批評文を書く。	【思判表】論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(書く)オ
		文法2 文法のまとめ	1	・3年間の文法の学習を思い出し、文の組み立てや単語の種類と働きなどについて復習する。	【知技】単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応について理解している。1年(1)エ、2年(1)オ
		夏草 ——「おくのほそ道」から	5	・芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。心に響いた俳句を伝え合う。	【思判表】文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(読む)イ
	11	[書く] 古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう	5	・3年間で出会った古典作品の学習を振り返り、古典の言葉を引用し、相手を決めてメッセージを贈る。	【思判表】文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(書く)イ
		それでも、言葉を	4	・筆者の見方・考え方に対する理解を深め、言葉との向き合い方について自分の意見をもつ。	【思判表】文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(読む)エ
		[話し合い(進行)] 話し合いを効果的に進めよう	1	・進行役の最後の発言に続く形で、参加者から出た意見を整理し、進行役の発言の効果を考える	【思判表】進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(話聞)オ
		合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	4	・地域社会や学校生活の中から課題を見つけてクラスで一つ議題を決める。グループで提案を考え、全体会議を開き、最後に合意形成のポイントを振り返る。	【思判表】進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(話聞)オ
12	漢字3 漢字のまとめ	1	1年生から3年生までの漢字に関する既習事項を思い出して課題に取り組む。	【知技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア	
	温かいスープ/アラスカとの出会い/律儀な桜/わたしを束ねないで	6	・様々な種類の文章を、自分の知識や経験と結び付けながら文章を読み、人と自然に対する自分の考えをもつ。	【思判表】文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(読む)エ	

3 学 期	1	国語の力試し①	6	・故事成語について理解し、自分の生活と結び付けて考える。	【思判表】 (読む)ア・イ (話聞)オ (書く)イ・ウ
		初日 漢字に親しもう5	1	・詩の中の言葉や表現から、描かれた情景や心情を捉え、詩の中の言葉を根拠として挙げながら、詩に描かれた情景や作者の思いを考える。	【思判表】詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(読む)エ
		慣用句・ことわざ・故事成語	1	・慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。	【知技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ
		漢字2 漢字の造語力	1	・新しい言葉が考え出された経緯を知る。	【知技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア
		国語の力試し②	6	・教材文を読み、「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。	【知技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ
		本は世界への扉／読書案内	1	・筆者の生き方について自分の考えをもち、作品の中で共感したことや疑問に感じたことなどを話し合う。	【知技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ
	3	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	5	・印象に残っている学習を思い出し、自分にとっての三年間の学びを総括するテーマを考える。冊子の内容と構成を考えて作った冊子の内容を紹介し合う。	【思判表】場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(話聞)ウ